

非結核性抗酸菌症に対する治療成績に関する多施設共同後方視的観察研究

1. 研究の対象

2001年1月1日から2017年7月31日までに当院（共同研究機関）において、①非結核性抗酸菌症に対し治療または検査目的に肺切除が行われた方。

2. 研究目的・方法

肺非結核性抗酸菌症（NTM）は近年増加傾向にありますが、内科での投薬を中心とした化学療法が主であり、外科治療も治療抵抗性の方などを対象に行われ、集学的治療の一環としてその役割を果たしています。しかし外科治療成績に関する報告は少なく、最近の日本においても治療成績が明らかにされていないのが現状です。また孤立結節型のNTM症については術式や術後治療の是非についても一定の見解がありません。そのため大阪大学の関連施設で、本疾患に対して手術を受けられた方、もしくは外科的に診断を得た方の治療法と現在の状態を調べ、どのような治療が最も有効かを調べることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究で利用する情報は登録されている臨床情報です（性別、年齢、既往歴、その他の併存症の有無、術前治療の有無、術前画像、手術日、菌の種類、手術術式、周術期合併症の有無、術後化学療法の内容、最終確認日、転帰、再発部位、再発後治療など）。試料は利用しません。

4. 外部への情報の提供

外部への情報の提供はありません。当院呼吸器外科内の事務局がデータセンターとなります。データの管理は特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究事務局で保管・管理します。

5. 研究組織

本研究に参加する研究機関とその代表者は以下の通りです。

近畿大学医学部奈良病院（塩野裕之）

市立吹田市民病院（横内秀紀）

JCHO 大阪病院（岩崎輝夫）

市立豊中病院（岩澤 卓）

りんくう総合医療センター（大森謙一）

国立病院機構大阪医療センター（高見康二）

箕面市立病院（黒川英司）

大阪警察病院（坂巻 靖）

八尾市立病院（兒玉 憲）
国立病院機構近畿中央胸部疾患センター（松村晃秀）
公立学校共済組合近畿中央病院（西岡清訓）
市立東大阪医療センター（早川正宣）
大阪はびきの医療センター（門田嘉久）
大阪国際がんセンター（東山聖彦）
堺市立総合医療センター（池田直樹）
西宮市立中央病院（桧垣直純）
大阪急性期・総合医療センター（船越康信）
宝塚市立病院（福原謙二郎）
KKR 大手前病院（前田 純）
星ヶ丘医療センター（澤端章好）
国立病院機構刀根山病院（竹内幸康）
徳洲会吹田病院（多田弘人）
日本生命済生会日生病院（前田 元）
結核予防会大阪病院（中根 茂）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

本研究に参加することを拒否する患者さまは下記へ連絡を下さい。

研究事務局：大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

塩野裕之 （近畿大学医学部奈良病院 呼吸器外科）

奈良県生駒市乙田町 1248-1

TEL：0743-77-0880

E-mail：hshiono@med.kindai.ac.jp